

日文研・アイハウス 連携フォーラム in 京都

Topic

ヴィジュアル資料が映し出す —— 帝国期日本の文化と社会

絵葉書、地図、旅行案内、写真などのヴィジュアル資料を活用した歴史研究が、いま、脚光を浴びつつあります。とりわけ20世紀前半、「帝国」として広大な版図を築いた日本が、いわゆる「内地」と「外地」を跨ぎ、どのような社会を形成したのか、そこで生きた人々の暮らしはどのようなものであったのかを、ありのままに見ようとするとき、これらの歴史画像は何にもまさる豊かな情報源となります。さらにそこには、当時の人々がその社会をどのように描き、記録しようとしたのか、その意思が映し込まれています。

日文研では創設以来、こうしたヴィジュアル資料を収集してきました。20,000点近くのにのぼるコレクションはデジタル化が進んでおり、いよいよその内容の本格的な検討が可能になったことから、2013年度以降、主に東アジア諸国の研究者らと国際共同研究を進めています。このたびの日文研-アイハウス連携フォーラムでは、アメリカで同趣旨の研究に着手しておられるケネス・ルオフ教授をお迎えし、日文研のコレクションづくりと共同研究をけん引してきた劉建輝教授とともに、ヴィジュアル資料による「帝国」日本文化研究の最前線をご紹介します。

講師◎ ケネス・ルオフ ポートランド州立大学教授

「移動する帝国」——戦時観光と絵葉書

劉建輝 日文研副所長 教授

従軍画家が描いた帝国のフロンティア

コメンテーター◎ バーバラ・ハートリー タスマニア大学講師・日文研外国人研究員

司会◎ 佐野 真由子 日文研 准教授

Date

2017年3月7日(火) 18:30~20:30(開場18:10)

ハートピア京都3階 大会議室 入場無料(先着180名・申込み不要)

主催 | 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



Nichibunken-IHJ Forum in Kyoto

2014年度より、国際日本文化研究センター（日文研）と国際文化会館（アイハウス）は、多角的に現代日本の理解を深めるためのフォーラムをシリーズで共同開催しております。これまでアイハウス（東京）にて開催してきましたが、今回は京都での開催となります。

日文研・アイハウス連携フォーラム in 京都

「ヴィジュアル資料が映し出す—— 帝国期日本の文化と社会」

ケネス・ルオフ ポートランド州立大学教授



コロンビア大学にて博士号取得（日本史専攻）。現代日本における天皇制研究で名高い。ハーバード大学ライシャワー日本研究所を経て、2009年より現職。日本近代史、日米関係、日系アメリカ人研究など幅広く日本研究に従事している。主な著書に、『国民の天皇 戦後日本の民主主義と天皇制』（共同通信社 2003、大佛次郎論壇賞）、『紀元二千六百年——消費と観光のナショナリズム』（朝日新聞出版 2010）、*“Imperial Japan at Its Zenith: The Wartime Celebration of the Empire's 2,600th Celebration”* Cornell University Press, 2016 (Frances Fuller Victor Award for General Nonfiction) など。

劉建輝 日文研副所長・教授



中国・遼寧大学外国語学部日本語科卒業。神戸大学大学院文化科学研究科博士課程終了。中国・南開大学外国語言語学部日本語学助教授、北京大学比較文学・比較文化研究所助教授を経て、1999年4月より国際日本文化研究センター助教授に就任。2013年4月より教授、2016年10月より副所長。専門分野は、日中比較文学、比較文化。主な著書に、『日中二百年——支え合う近代』（武田ランダムハウスジャパン、2012年）、『増補・魔都上海——日本知識人の「近代」体験』（ちくま学芸文庫、筑摩書房、2010年）など。

バーバラ・ハートリー タスマニア大学講師・日文研外国人研究員



クイーンズランド大学にて博士号取得。2006年7月よりタスマニア大学校シニア講師に就任。2016年7月より国際日本文化研究センター（日文研）外国人研究員。専門分野は文学、カルチュラル・スタディーズ、ジェンダー研究。主要著作に“Feminism in Japanese Literature,” *Routledge Handbook of Modern Japanese Literature*, Routledge, 2016. “Yoshitsune, History and the Manga Text,” *Rewriting History in Manga*, Palgrave Macmillan, 2016. “Fragile Polyphony: Takeda Taijun’s Longing for Asia through the Landscape of Shen Congwen,” *Asia Through Art and Anthropology: Cultural Translation Across Borders*, Bloomsbury, 2013 など。



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口（地下鉄連絡通路にて直結）
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>

